

平成 26 年度 第 2 回役員会

1. 日 時 平成 26 年 12 月 16 日 (火) 18:30~20:45
2. 場 所 三宮センタープラザ西館 6 F 3 号会議室
3. 出 席 者 畑会長、油井副会長、河村副会長
常任幹事
(宇都、中山、芦田、伊賀、山下、北田、矢野、恒藤、小川)
KTC：水池副理事長
顧問：来馬氏、池野氏、田中氏、井澤氏
神戸大学：藤田教授、加藤准教授

4. 議事内容

(1) 平成 26 年度総会について

①総会付議資料について

- ・議案 1) 会務報告、議案 2) 会計報告、議案 3) 監査報告、議案 4) 役員改選、議案 5) 予算案、について説明。
- ・議案 5) 予算案の中で、暁木会学術振興基金の運用について、平成 28 年 2 月 23 日をもって市債管理の満期をむかえることから、平成 26 年度の総会で次期運用についての議決を諮り承認をもらうこととする。なお、次期運用については、国債、兵庫県債、神戸市債の中から、平成 28 年 2 月時点で最も利率の高い商品とする。

②役員改選について

- ・平成 27 年度の会長、副会長、常任幹事（総務・会計・広報）の候補者を推薦。

③総会進行について

- ・各支部はあらかじめ紹介内容を紙面に記載したものを全員に配布し、その内容のみの紹介とする。
- ・シナリオにタイムスケジュールを記載し、司会者が進行状況を把握できるようにする。
- ・博士課程の紹介を追加する。
- ・懇親会の OB 挨拶時には事務局側が拍手等で注意喚起するとともに、大学側にも事前に学生への注意喚起をお願いする。
- ・平成 25 年度に効果のあった「集合時間厳守」や「会場マナー」については、今年度も大学側の協力を得て、出席案内と一緒に事前に紙及びメールで通知する。
- ・総会の配席については、前年度同様、会員と学生の対面型を基本としつつ、議案説明時において、事務局と会員が向きあう形にできるか、会場の座席配置等を検討する。（最終的には、会の時間短縮、会場のレイアウトにより総合的に判断）

(2) 会費納入状況について

- ・今年度は名簿の改訂作業にあわせ、新規の会費会員登録を依頼。現時点で、昨年度に比べて 11 名減の状況ではあるが、口座不備などで口座引去りのできなかった 35 名に再度依頼中であり、これを合わせれば会員数は増加。
- ・安定的な暁木会会計のためには、会費会員 1200 名が目標であり、特に登録率の低い若手を中心に、引き続き会員増強のための活動をしていく。

(3) 暁木会ニュースについて

- ・暁木会ニュース No.28 (12 月)、No.29 (3 月) の構成案について説明。
- ・No.28 は既にホームページに掲載済みで、名簿とあわせて送付予定。No.29 については、構成上ページに余裕があるため、その内容を検討中。

(4) 暁木会若手会員との意見交換会について

- ・平成 26 年 11 月 21 日に暁木会の新社会人と役員の意見交換会を実施し、その結果について報告。
- ・今回は新社会人の出席者が少なかったが、新社会人の対象学年の幅をもう少し広げること等を検討してみる。

(5) その他

- ・来年度から 3 年間、暁木会より KTC 理事長を出すことになっていることから、暁木会役員は KTC の行事にできる限り参加するよう、顧問より要請があった。

(北田記)